

令和2年9月12日

我孫子市長 星野 順一郎 様

我孫子市総合計画審議会

会長 藤井敬宏

我孫子市第四次総合計画基本構想の策定について（答申）

令和元年6月22日付け企画第141号「我孫子市総合計画について（諮問）」により諮問された「1. 第四次総合計画基本構想の策定」について、まちづくりの目指すべき姿や方向性等について慎重に審議した結果、別紙の我孫子市第四次総合計画基本構想（案）として答申します。

なお、基本構想に掲げる将来都市像「未来につなぐ 心やすらぐ水辺のまち 我・孫・子」に向けた計画の推進にあたり、下記の事項に留意してください。

記

1. 地震や局地的な集中豪雨、新たな感染症など、市民生活への脅威は拡大かつ複雑化しています。
市民・地域・行政がそれぞれ防災意識を高めるとともに、相互の連携を図りながら、誰もが安全に安心して暮らせるまちづくりに努めてください。
2. 今後、少子高齢化が進行し、労働力の軸となる生産年齢人口の減少や担い手不足により地域の活力の低下が懸念されることから、これまで以上に子育て世代の定住化を促し、バランスの取れた人口構成を目指していくことが重要となります。
そのため、新たな企業の誘致に積極的に取り組むことで安定した雇用を確保するとともに、働きながら安心して子どもを産み育てられる環境を充実し、若い世代が希望を持てるまちづくりに努めてください。

3. 我孫子には、先人たちが残した様々な地域資源や豊かな自然があります。これらを継承し、活用するとともに、市内外にPRすることで、にぎわいのあるまちづくりに努めてください。
4. 地球規模の温暖化や環境破壊を防ぎ、美しい地球を次世代に繋いでいくため、ごみの減量化や再資源化、温室効果ガス削減のための再生可能エネルギーの活用など、環境に配慮した社会を目指したまちづくりに努めてください。
5. 魅力あるまちづくりを進める上で、シティプロモーションは重要な施策です。また、シティプロモーションにおいて大切なことは、市民や事業者と共に取り組み、地元にも愛着を持ってもらうことです。そのことを踏まえ、常に「情報の受け手」の立場から考え、我孫子市の魅力がどうすれば効果的に伝わるのかを意識したシティプロモーションが重要です。また、どの媒体で情報発信することが効果的・効率的か検討するなど、創意工夫に努めてください。